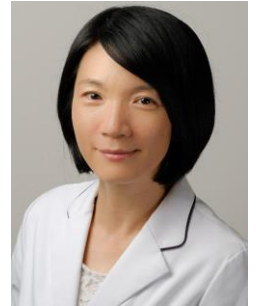




乳腺外科紹介 乳腺外科 よしだ みわ 吉田 美和

私たちが携わる乳腺診療においては、個々の患者さんの乳がんのサブタイプや遺伝的リスク、ライフスタイルなどに応じた個別化が進んできています。乳がんに対する薬の選択肢はどんどん増え、手術では、乳がんを体から完全に取り除くのはもちろんのこと、術後の乳房の形を整えることまでも追求されるようになってきています。当科で行う乳房温存手術では、最新の超音波診断技術を駆使して、より適切な切除範囲を決定し、皮膚切開を乳輪部や乳房のブラジャーのラインに隠れる場所におくなど術後の傷跡が目立たないよう工夫しています。また、がんが広範囲に進展していて乳房全切除を選択せざるを得ない場合は、ご希望に応じて形成外科の協力のもとで乳房再建手術を行っています。



最近、乳がん検診においても、個々の乳がんリスクや乳房構成に応じた個別化プログラムが追求されるようになってきています。マンモグラフィでは、乳腺は白く、脂肪が黒く写りますが、乳がんなどの病変も白く写るために、乳腺が多く脂肪が少ない「高濃度乳房」の女性は、正常乳腺に病変が隠れてがんがみつけにくい傾向があります。このような「高濃度乳房」女性に対して、マンモグラフィに乳房超音波検査を併用することで、乳がんの発見率が高くなることが報告されています。ただし、「高濃度乳房」は病気ではないので、乳房超音波検査は保険診療ではなく、昭和大学豊洲クリニックや近隣の連携施設で検診として受診していただき、精密検査が必要と判定された場合に当科を受診していただきます。江東豊洲病院が開院して5年が経過し、乳腺チームのメンバーも充実してきていて、7月から特に土日の診療に力を注いでいく予定です。土日診療のメリットを生かし、患者さんのライフスタイルやご希望に配慮した迅速な検査スケジュールおよび最適な治療を提供し、患者さんの不安をなるべく早く取り除くことができるよう尽力してまいりたいと思います。



乳腺外科のスタッフ



昭和大学江東豊洲病院

第63号のトピックス

- ・乳腺外科紹介
- ・熱中症予防について
- ・七夕イベントのご案内
- ・院内コンサート開催報告
- ・中国麻酔科医師団病院見学
- ・「ご意見・ご要望」についての回答
- ・編集後記

今年も熱中症の季節になりました。昨年を思いおこせば、全国的に気温が高い日が多く、なかでも埼玉県熊谷市では7月23日のまさに「大暑の日」に41.4℃という日本最高気温を記録しました。また、全国で9万5千人あまりの人が熱中症のため救急車で病院に運ばれましたが、これも過去最多のありがたい新記録でした。

さて、熱中症では体の中でどんなことがおこっているのでしょうか？

人は体温が上がると皮膚へ血流をふやし、汗をかくことで熱を外へ逃がして体温を下げます。ところが、大量に汗をかいてしまうと体内の水分が足りない脱水状態になります。この時に適切に水分を補わないと汗が出なくなり体温を下げられなくなります。脱水や高い体温は脳や腎臓など体の重要な臓器を傷めてしまいます。

それでは、熱中症ではどんな症状が出て、それにはどう対処すればいいのでしょうか？

熱中症のはじまりの症状は、立ちくらみやめまい、筋肉のこむら返り、手足のしびれ、体に力が入りにくい、一瞬気を失うなどの症状です。このような時には涼しい所で安静にし、ナトリウム（塩分）を含む水分を飲みます。できれば太い血管が通っている両側の首、脇の下、両足の付け根を冷やします。これらの応急処置で症状が良くなってくれば必ずしも病院を受診する必要はありません。

熱中症がもう少しすすむと、体がだるくなり、頭痛がしたり吐き気や嘔吐があったり、ボーとして意識がなんとなくおかしいなどの症状になります。この時は前に述べたような応急処置をしつつ医療機関への受診が必要です。

さらに熱中症がすすむと、呼びかけに答えなくなったり、痙攣を起こしたりします。体温が40℃以上になってしまうと命の危険があります。すぐに救急車で病院に行く必要があります。

熱中症は予防こそが大切です。予防は身の回りのごく簡単な事に注意をすることです。例えば、暑い時は喉が渇いていなくとも水分をこまめにとる、部屋の中ではクーラーをうまく使う、外では男女を問わず日傘を使う、その日の熱中症注意情報にしたがって行動する、日々の睡眠をしっかりとって体調を整えるなどです。高齢者や乳幼児の方は体温の調整が不得意なため特に注意が必要です。この夏も熱中症にならないように是非とも予防を心がけましょう。



七夕イベントのご案内

去年も好評いただき多くの方にご参加いただきました七夕企画を、今年も昭和大学江東豊洲病院1階外来ロビーで実施します。

大きな笹をご用意し、本年も皆さんの願い事が叶いますよう実施しますので、ぜひご参加下さい。

実施期間：7月1日（月）～7月7日（日）



院内コンサートを開催しました

5月18日（土）院内コンサートを開催しました。今回は、当院研修医の西村公太がピアノ演奏を披露しました。ショパン「Etude Op.10 Nr.4」や、リスト「Liebestraume」No.3など、難易度の高い曲が次々と披露され、圧巻の音色に包まれるコンサートとなりました。



西村公太研修医



中国麻酔科医師団 病院見学

6月6日（木）、中国の麻酔科医師19名が、日本の麻酔科の先端技術視察のため当院を訪れ、eICU、病棟、外来フロアなどを見学しました。

eICUとは、ネットワークで繋がった昭和大学病院のコントロールセンターと当院のICUがライブ映像と音声でコミュニケーションを取り、患者データや、集中治療の専門的な知識を共有し、診療の質を向上させることができる最新のシステムです。

当院のICUから映し出された名刺の細かな文字を昭和大学病院のコントロールセンターが読み取ると、医師団からは歓声が上がりました。



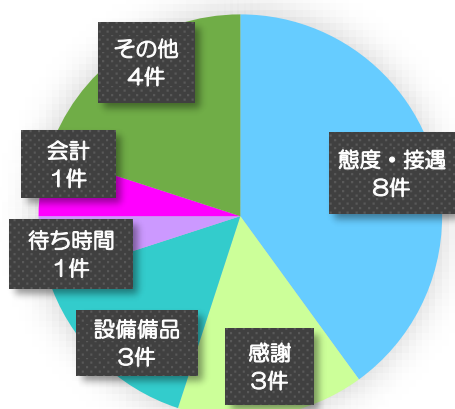
eICUを見学する麻酔科医師団



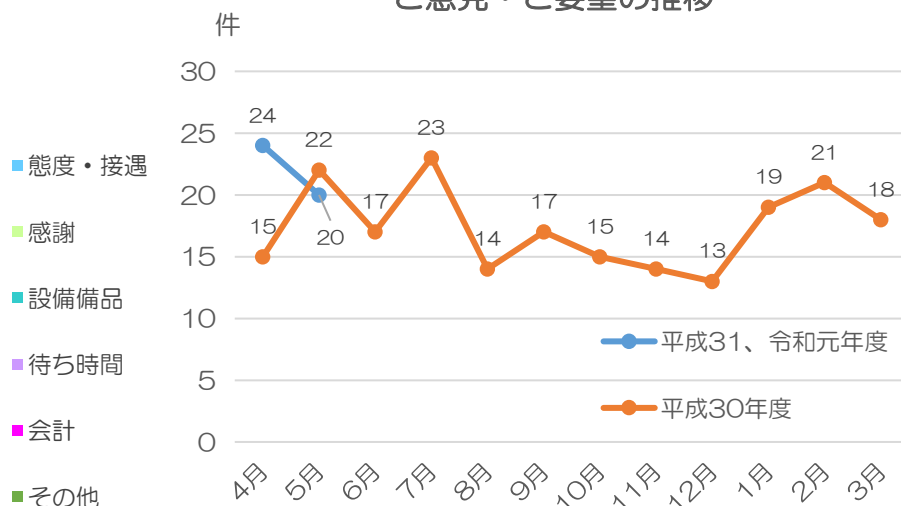
◆「ご意見・ご要望」についての回答

ご意見・ご要望	回答・改善策等
病棟にWi-Fiを設置してほしい。	<p>この度は貴重なご意見をありがとうございます。Wi-Fi の設置につきましては、病院内で使用している電子機器専用ネットワークの障害に起因する可能性があるため、設置は見送らせております。ご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：管理課</p>
感謝	回答
怪我で車椅子が必要な息子のために警備員の方がとても親切に対応して下さい、感謝の気持ちでいっぱいになりました。本当にありがとうございました。	<p>この度はご丁寧なお言葉でお褒めいただき恐縮です。これからも何かお手伝いできることがございましたら、いつでもお声がけください。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：警備</p>

令和元年5月分
ご意見・要望の内訳
総件数20件



ご意見・ご要望の推移



編集後記 産科 岡田 裕美子

2020 東京オリンピックまでとうとう 1 年をきりました。開催国ということもあり、来年の今頃は日本中がオリンピック一色になっているのではないのでしょうか。スポーツはテレビ観戦も面白いですが、実際に会場でその熱気を感じてみるのもいいものです。学生時代バレーボール部に所属していた私は、高校生の頃に代々木体育館へワールドカップバレーボールを観に行ったことがありました。初めて世界レベルの大会を目にしたときの感動と興奮は今でも鮮明に記憶に残っています。人生の中でオリンピックを間近に体感できるチャンスは滅多にないと思いますので、2020 東京オリンピックが今からとても楽しみです。



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：笠間 毅 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ

